

オンライン併用開催

# グリーンイノベーションシンポジウム かけ算の技術と地域活性化

温室効果ガスを削減し、2050年に脱炭素化と経済成長を両立する「グリーン社会」を実現することが社会の大きなゴールとなり、持続可能な社会構築のための目標であるSDGsは様々な機会に今後の社会発展の課題として議論されています。東北地域は、自然エネルギーの設置率が高く、また農林水産資源にも恵まれています。今後、活力ある地域を実現するためには、これら東北地域の利を活かし、最先端の科学を活用して、新しい技術と産業を生み出すことが求められます。

本シンポジウムでは、かけ算の技術(異分野、異業種、地域等の様々な技術の連携による新たな技術への取組)により「グリーン社会」を目指す取組みを紹介するとともに、地域活性化として宮城県が取組む放射光関連事業とスタートアップ企業支援について紹介します。

日時 令和5年1月31日(火)  
13:00~16:10

会場 東北大学 さくらホール(片平キャンパス)

定員 会場定員 70人  
オンライン 100人

参加費無料

## Program プログラム

13:00 開会挨拶 宮城県産業技術総合センター 材料開発・分析技術部長 氏家 博輝氏

### 13:10 セッション1 <大学から>

1 マテリアルズインフォマティクスの基盤となる計算材料科学シミュレーションへの取組  
東北大学金属材料研究所 教授 久保 百司氏

2 超微量粘度計と大学発スタートアップの取組  
東北大学未来科学技術共同研究センター 教授 栗原 和枝氏

休憩(10分)

### 14:10 セッション2 <地域企業より>

1 表面界面技術における宮城県産業技術総合センターの支援内容紹介  
～滑雪塗料の事例を中心として～  
宮城県産業技術総合センター 材料開発・分析技術部 総括研究員 佐藤 勲征氏

2 X線光電子分光分析装置を活用した機能性フィルムの開発  
株式会社コバヤシ 技術研究所 部長 酒井 圭介氏

3 食品の表面及び内部構造観察と付加価値創造の取組み  
理研食品株式会社 品質保証部 品質管理グループ リーダー 大場 隆氏

4 東北における持続的なものづくりのための技術開発(仮題)  
トヨタ自動車東日本株式会社 Fグリッド 部長 藤崎 敏昭氏

休憩(10分)

### 15:40 セッション3 <地域の話>

1 放射光施設ナノテラスと宮城県の放射光技術活用の取組  
宮城県経済商工観光部 技術副参事 兼 新産業振興課総括技術補佐 久田 哲弥氏

2 テック系スタートアップ・サポートコンソーシアム宮城(テクスタ宮城)について  
宮城県経済商工観光部 新産業振興課 課長補佐(産学連携推進班長) 大友 啓司氏

お申込み締切: 令和5年1月26日(木)

参加ご希望の方は、所属企業・団体名、連絡先、参加者氏名をご記入の上、FAXまたは申込みフォームからお申込みください。\*ご記入いただいた個人情報は、本講演会以外の目的では使用しません。

申込方法

下記URLまたはFAXよりお申し込みください。詳細はウェブサイトをご覧ください。  
<https://tribology.niche.tohoku.ac.jp/event/>

FAX 022-795-7985

問合せ先

宮城県経済商工観光部新産業振興課  
産学連携推進班 担当:大友、橋本

E-mail: shinsanr@pref.miyagi.lg.jp

TEL:022-211-2721

※新型コロナウイルス感染症の状況によりオンライン開催のみとする場合があります。その場合は、会場聴講をお申し込みの方もオンライン聴講といたしますのでご了承ください。

【主催】宮城県、東北大学トライボロジー融合研究会

【協賛】SMILEcoみやぎ(文部科学省地域イノベーション・エコシステム形成プログラム)